【資料1】

秋田県男鹿市での実施概要について

1．携帯電話を用いた観光案内



・秋田県にゆかりのある江戸時代中期の紀行家「菅江真澄」の足跡を活用し、彼が訪問した各地で描いた図絵と現在の景色を見比べ、地元の歴史、風土、史跡等解説する「時空旅行」のほか、観光に訪れた**皆さんがお持ちの携帯電話に**欲しい観光情報を選んで配信･印刷するシステムを提供します。

[主な情報提供の内容]

- **菅江真澄の描いた図絵と解説**
- **男鹿の観光スポット**
- **お勧めのドライブコース･施設までの移動時間**
- **温泉や宿泊施設のご案内**
- **トイレやガソリンスタンド等のご案内　など**





・協議会構成員（予定）：
秋田大学、秋田県秋田地域振興局、男鹿市、男鹿市観光協会、NPO観光情報スクエア、秋田県立博物館、男鹿市菅江真澄研究会、JR東日本、秋田中央交通、東北地方整備局秋田河川国道事務所

2．男鹿市内における総合的サイン計画の検討

・主に自動車で観光される方に対して男鹿地域の道路案内標識や観光施設での**総合的サイン計画を検討**します。

・一部施設で試行し、皆様の意見を伺い改善する予定です。

具体的な検討項目

- 案内標識の現状確認
- 案内標識のレイアウト、カラーの検討（観光地･著名地点）
- 交差点のコード化（交差点目印標識）による案内の試行　等



※　交差点目印標識のイメージ（国土交通省資料より加工して作成）